

## 令和2年度事業計画

### 1. 委員会

各委員会は以下の現ビジョンに対するこれまでの取り組みについて評価を行い、次期ビジョン策定小委員会における次期ビジョン検討のためのフィードバックを行う。

#### 1) 総務委員会

協会の組織・運営、人材についての制度の設計・整備及び広報に関する企画・立案並びに協会賞及び海外派遣事業の企画・審議を行う。

#### 2) オープンアクセス委員会

多様化する学術情報のうち主として大学が生産する教育研究成果の発信及びオープン化と保存に取り組み、大学における教育研究の進展及び社会における知の共有や創出の実現をはかる。

#### 3) 学術資料整備委員会

大学図書館が蔵書や電子リソース等を適切に整備し、利用環境をととのえ、長期的な利用を保証する体制を構築するための調査・企画・立案を行う。

#### 4) 学術情報システム委員会

総合目録データベースをはじめとする学術情報システム基盤を高度化することにより、知の総体を対象として、必要な情報が効率的・網羅的に発見できる環境を実現する。

#### 5) 図書館環境高度化委員会

知を創出する場としての大学図書館のサービスの高度化及び地域・社会との協働に関する企画・立案を行う。

### 2. シンポジウムの開催

### 3. 地区活動の助成

地区協会の事業計画に対し事業費助成を行うことにより、地区活動の活性化を図る。

### 4. 海外派遣事業

令和元年11月28日付けで長期・短期海外派遣事業を募集した。選考の上派遣する。

### 5. オープンサイエンスの推進に向けた先導的事業の推進

協会予算の一部を充当し、会員館（複数の会員館による連携事業を推奨）の優れた計画に対する助成を行う。

### 6. その他